

若手口腔外科医の皆様へのお知らせ

若手口腔外科医委員会 委員長 岸 本 裕 充

若手口腔外科医の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

若手口腔外科医委員会では、将来の口腔外科医療を担う皆様に支援するために、昨年と同様、本年も以下の「若手口腔外科医の優秀論文賞」を実施します。また、昨年5月15日(日)に「若手口腔外科医交流会キックオフミーティング」を開催し、本年は、7月29日(土)、30日(日)に「第1回若手口腔外科医交流会」の開催を予定しています。今後の学会ホームページや本誌の案内にご注目してください。

なお、「若手」とは当学会の専門医資格取得前の口腔外科医とします。

1. 若手口腔外科医の優秀論文賞（グリーンリボン賞）について

若手口腔外科医の活躍を顕彰するために、学術大会時の論文表彰とは別に、若手口腔外科医委員会によって過去1年間における優秀論文を表彰いたします。若手口腔外科医の自薦により応募してください。なお、表彰者は若干名、賞金を準備します。また、表彰式は学術大会時に実施を予定しています。

応募条件は以下のとおりです。

- ・応募時点で専門医資格取得前の若手であること（年齢は問いません）。
- ・内外の英文学術誌に英文で掲載済みであること（なお、“**Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology**”に掲載された論文は、学術奨励賞の対象のため若手口腔外科医の優秀論文賞の対象外ですが、学術奨励賞については自薦の必要はございません）。
- ・論文掲載日が、2022年1月1日～12月31日であること。
- ・原著論文であること（研究分野は問いません）。
- ・同一著者が同時に複数の論文を応募することはできないこと。
- ・共同筆頭著者の論文は応募できないこと
- ・オンラインと紙媒体での論文掲載日については、世の中に最初に出た日付けのものであること。

応募締切：2023年2月末

応募方法：事務局のメールアドレス（office@jsoms.or.jp）に論文PDFを添付して、「若手口腔外科医の優秀論文賞申請」の表題をつけて、メールにて応募してください。応募があった場合には、受理した旨の返事をメールにてお送りいたします。

2. 若手口腔外科医国内研修支援制度について

皆様が所属している病院、診療所以外の施設の口腔外科診療や手術を見学・診療体験してみたい方のために、若手口腔外科医国内研修支援制度を2019年から開始し、本年は5年目になります。学会ホームページの「事業案内」に、「若手口腔外科医国内研修支援制度」の欄があります。そこに、若手の訪問研修受け入れ可能な施設（口腔外科学会研修施設・准研修施設）の一覧表が掲載されています。

※ ただし、新型コロナウイルス感染者数の状況から、多くの研修施設が研修生の受入を停止しているため、申請受付を延期しております。状況が改善し、研修が可能になった段階で皆様にお知らせいたしますので、ご了承ください。